

1 題材名 思春期の心

2 題材設定の理由

第二次性徴期は、からだの発達とともに心も変化し不安定になる。そのために、時には複雑な感情の表し方や感じ方をすることもある。そこで、思春期における心とからだの変化について正しい知識を身につけ、受け入れることが大切である。今回は大脳の発達について学び、思春期をよりよく生きるために望ましい過ごし方を考えさせ、正しい異性観の確立と行動の仕方を身につけさせたい。

3 生徒の実態 (平成 年 月 日調べ 中学1年生回答者数 男 名 女 名 合計 名)

- 1 あなたが感じていること、思っていることであてはまるものに○をつけて下さい。
- ア 自分を目立たせたい イ 自分に自信がない ウ 自分の容姿が気になる
 エ 親や先生に反抗したりいらいらすることがある オ 異性について知りたいと思う
 カ おしゃれがしたい キ 雑誌などの性に関する内容に関心がある
 ク 恥ずかしいと思うことが多い ケ 理想と現実に違いを感じことが多い
- 2 自分の体が大人に近づいていると感じますか。
- ア 感じる イ 感じない ウ 分からない

4 指導のねらい

思春期の心の変化や、それに伴う行動や態度の特徴を理解するとともに、自己理解を深め、友人や異性に対する思いやりの心や思春期を賢明に乗り越えていこうとする心を養う。

5 学習計画及び評価規準

月 日	過程	活動の場	活動 内 容	評 価 規 準
月 日	事前	帰りの会	思春期に関するアンケートを実施する。自分たちが思春期であることを実感する。	思春期の特徴を知り、自分の気持ちの変化や感情のコントロールについて考えようとしている。(関心・意欲・態度)
月 日	本時	学級活動	思春期の心の変化について理解し、感情や欲求を上手くコントロールできるよう、人としてよりよく生きることの大切さを考える。	思春期の心とからだの変化について理解している。(知識・理解) 上手に感情をコントロールする方法について考え、これから的生活の中によりよく生きるために行動選択をしている。(思考・判断)
随 時	事後		よりよく思春期を過ごす手立てを見つけ、感情や欲求をコントロールし、行動の取捨選択ができるようにする。	相手を思いやる気持ちを持ちながら、自分の感情を上手にコントロールして行動できる。(技能・表現)

6 本時の指導

(1) 目標

思春期における大脳の働きについて科学的にとらえ、人としてよりよく生きるための欲求や感情を上手にコントロールしようとすることができる。

(2) 準備・資料

- ① アンケート結果 ② 資料 「大脳の図」 「接触欲のグラフ」
 ③ ビデオ「こんにちは！13才」

(3) 展開

学習活動・内容	教師の援助及び評価 (評)		準備資料
	T 1	T 2	
1 本時の課題を確かめる。 思春期の大脳の働きについて理解し、欲求や感情を上手にコントロールできるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> 本時の課題を提示し、確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 机間をまわり、本時の課題が理解できるよう助言する。 	
2 思春期とは、どの時期を指し、どのような変化がおこるのか考える。		<ul style="list-style-type: none"> ワークシートが記入できていない生徒に助言する。 	ワークシート 1 記入
3 映像を見ながら思春期の心のメカニズムを理解する。		<ul style="list-style-type: none"> ビデオをセットし、再生する。 静かにビデオの視聴ができるように個別に支援する。 アンケート結果を黒板に貼る。 	ビデオ
4 アンケート結果を見ながら心の変化について理解する。 <ul style="list-style-type: none"> 自我のめざめ 性のめざめ 感情の変化 		<ul style="list-style-type: none"> 事例を板書する。 	アンケート結果 ワークシート 2 記入
5 男女の接触欲の違い		<ul style="list-style-type: none"> グラフをみながら男女の接触欲の違いについて理解する。 男女の特性を理解させ、正しい異性観の確立と行動の仕方ができるよう支援する。 大脳の働きについて科学的に考え、誰もが前頭葉の働きで感情をコントロールできることを理解する。 	接触欲のグラフ 大脳の図 ワークシート 3 記入
6 大脳の図を見ながら、科学的に大脳の働きについて考える。 <ul style="list-style-type: none"> 本能 新皮質 前頭葉 	<ul style="list-style-type: none"> 机間をまわり、ワークシートに記入していない生徒の支援をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒から出た意見を板書する。 	ワークシート 4 記入
7 身近な具体例から自らの行動の仕方を考え、意見を出し合う。	<ul style="list-style-type: none"> 場面の想定を提示して具体的な行動を考えワークシートに記入する。 意見を出し合い共有しあえるよう助言する。 		
8 本時の活動をふまえ、今後の決意と授業の感想を考える。	<ul style="list-style-type: none"> (評) 上手に感情をコントロールする方法について理解し、これから的生活の中で、よりよく生きるために行動選択をしている。(発表・ワークシート) 思春期をよりよく生きるために、どのような心構えをしたらよいか、各自自分の考えをまとめられるように支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> 机間をまわり、ワークシートに記入できていない生徒に助言する。 	ワークシート 5 記入

7 事後指導への配慮

思春期の気持ちを、上手に過ごすためのよりよい手立てが見つけられない場合は、個別に対応していく。